

The Japan Cup

HARROW INTERNATIONAL SCHOOL APPI JAPAN

市内中学生が招待され ゲレンデ交流



ハロウインターナショナルスクール安比ジャパン（ハロウ安比校）は3月19日、市内中学生を招きスキー・スノーボードでタイムを競う「ジャパンカップ」を開きました。大会にはハロウ安比校の生徒19人と西根中、松尾中、安代中からスキー・スノーボード合わせて8人が参加。西根中の伊藤楓華さん（当時2年）は「友達に誘われ、英語でコミュニケーションするのが楽しかったので参加しました。英語の放送や説明を聞き、もっと英語を勉強しようと思いました」と話すと、松尾中の高橋叶愛さん（当時2年）は「秋にハロウ安比校と交流した時に同じグループだった人がいて、リフトと一緒に乗り、学校の話をしました」と交流を深めた様子でした。

ハロウ安比校のミック・ファリー校長は「今回が1回目ということで、参加のみなさんは歴史の1ページを開きました。来年は、英国にあるハロウの本校や、アジアのハロウ校にも参加いただき、大きな大会にしたい」と期待を述べました。

大会は、スタート時の掛け声やゴール後の選手への拍手など終始和気あいあいとした雰囲気で行われ、相互理解と交流の良い機会となりました。



1、2 緊張した面持ちでスタートに立つ伊藤楓華さんと、勢いよくスタートした高橋叶愛さん 3 ゴールした選手にねぎらいの言葉を掛け、拍手などで出迎えるハロウ校の生徒たち 4 「イエス！ ナイスラン！」 「ナイス リカバリー」など、選手の滑りを会場内へアナウンス実況するミック校長（右） 5 入賞の賞状を受け取り喜ぶ北館日和さん（当時安代中2年） 6 「ハロウの人は明るい雰囲気、楽しそうに取り組んでいたのが印象的だった」と語る工藤柚香さん（当時西根中2年・左）と「機会があったらまた参加したい」と意欲を示す伊藤楓華さん（右） 7 記念すべき1回目のジャパンカップに参加した市内中学生と関係者で記念の一枚